

## 伊那市地域情報化審議会 会議録

開催日	平成28年8月24日（水）				
開催場所	伊那市役所 第2委員会室				
開催時間	開 会	午後 2時00分	～	閉 会	午後 3時55分
	委員氏名		出欠	市側 出席者	
委員の 出欠	1	萩原 素之	出	副市長 林 俊宏	
	2	柳川 広美	出	事務局	出欠
	3	飯島 信子	出	総務部長 原 武志	出
	4	平澤 きよ美	欠	情報統計課長 高嶋 利幸	出
	5	高嶋 厚	出	情報推進係長 松崎 茂	出
	6	向山 賢悟	出	情報推進係 守谷 泰志	出
	7	水野 哲男	出	オブザーバー	出欠
	8	北原 秀志	出	NPO いなじん 中村 元康	出
	9	赤羽 芳一	出		
協議事項	(1) 現在の伊那市地域情報化計画について (2) 第2次伊那市地域情報化計画（案）について (3) 審議会の進め方について				
配布資料	資料No.1 伊那市地域情報化審議会条例 資料No.2-1 第2次伊那市地域情報化計画 資料No.2-2 具体的な取り組みの評価 資料No.3 第3次伊那市地域情報化計画（案） 資料No.4 審議会の進め方について				

### 1 開 会

### 2 委員委嘱

### 3 あいさつ （林副市長）

### 4 伊那市地域情報化審議会について

＜事務局からの説明＞

## 5 正副会長の選出

会長 萩原 素之 委員  
副会長 柳川 広美 委員

## 6 諮問

### 7 協議事項 議事進行 萩原会長

#### (1) 現在の伊那市地域情報化計画について

<事務局からの説明>

委員：取組の評価点が1のものは検討にも至っていないということか。

事務局：電子入札の導入検討については、検討もほとんどできていなかった。

委員：第3次計画には載るのか。

事務局：検討が必要なので引き続き載せてある。

委員：市民は複雑ではなく分かりやすい形で、市の財政などの情報を知りたいと思っている。

委員：重要な御指摘である。こういう機会でもないと思えない意見である。

委員：コミュニティFMについて完了となっているのは何故か。

事務局：市では実施しないという結論を出したので完了とした。

委員：今回の審議会において第2次計画の扱いはどうなるのか。

事務局：第3次計画策定の参考としていただきたい。

委員：こういう計画は、市民との接点が重要。しかし、なかなか伝わりにくいのが残念である。

委員：インターネットなどに公開する情報は、利用する側にとって使いやすい形で公開してほしい。

委員：使う側としては、使いやすさやわかりやすさは重要である。

#### (2) 第3次伊那市地域情報化計画（案）について

#### (3) 審議会の進め方について

<一括で事務局からの説明>

委員：観光案内や市各課の対応において部署間の情報共有が不十分なことがあった。庁内や出先のLANシステムでの情報共有を図り、特に観光やイベント情報についての対応を充実してほしい。

事務局：ご指摘いただいた職員間の情報共有については適切な対応をしていきたいと思う。

委員：情報共有化の意識向上は、対外的なことだけでなく、職員間についても必要である。

- 委員：第3次計画（案）は幅広いテーマが盛り込まれている。企業主体のテーマに行政はどんな立場で係わるのか。
- 事務局：主体が行政でないものは、企業や民間への働きかけを行う。補助金制度による誘導策という方法も考えられる。
- 委員：箕輪、南箕輪、伊那を走るコミュニティバスは非常に良いことだと思う。情報発信についても計画に含めてほしい。
- 事務局：計画の中にある市の公式ホームページによる情報提供に含まれると考える。コミュニティバスも含めた重要な施策については、マスコミの力もお借りして情報発信に努めていきたい。また、パブリックコメントなどの対応も行っていきたい。
- 委員：第2次と第3次の計画を見て、一度に理解することは難しい。比較表のようなものがあると有難い。
- 事務局：計画の比較について資料を作成する。
- 委員：熊本地震について何か検証したか。災害時の市民への情報提供はどのようになるのか。
- 事務局：本年度、災害時の業務継続計画を策定している。第3次計画の方針へ文言を加えたい。
- 委員：移住者向けの空き家物件の情報提供が長野県だけでなく全国的に行われているようだが防犯的に大丈夫か。
- 事務局：持ち主の方の了承を得て、掲載するといった方法で行っている。
- 委員：5年間のロードマップのようなものが付くと良い。担当部署が多岐にわたる場合は、情報共有してほしい。
- 事務局：庁内に電子市役所推進会議や庁議調整会議などの会議があるので、そこで情報共有していく。
- 委員：市が設置している公衆無線LANは無料のアクセスポイントか。セキュリティ面は大丈夫か。
- 事務局：無料のアクセスポイントが若干数ある。行政が設置する場合には、市に設置責任が発生するので、維持経費は高くなるがセキュリティ対策を実施する考えである。
- 委員：伊那ケーブルテレビさんに管理運営を委託してはどうか。セキュリティ管理に関しては、ログは3年間も取れば良い。
- 委員：公衆無線LANのアクセスポイントの数が増えて、まとまった数になれば、管理運営を受託できる可能性がある。
- 委員：市がLINEのようなサービスを利用するのはどうか。
- 事務局：SNSとしては市の公式 Facebook を活用しており、今のところLINEの利用は考えていない。
- 委員：教育の情報化について、タブレットは台数を揃えるだけではダメ。学校によっては使用できない場所があるので、どこでも使える環境にしてほしい。パソコンも必要であり、現場の意見を反映してほしい。職員が自宅でも仕

事ができるようにしてほしい。

事務局：自宅での仕事については、セキュリティ対策が年々厳しくなっており、便利さだけでなく情報漏えいに対するリスクも考える必要がある。学校における情報環境充実の要望は、担当課へ伝える。

委員：オープンデータについて、近隣の市町村では積極的に提供しているところもある。伊那市では現段階で使えるようになっているのか。

事務局：利用範囲を明記しての公開はしていない。順次公開するようしていきたい。

#### (4) その他

特になし

### 8 その他

委員：高齢者が行方不明になったときに探すのが大変である。予め本人に機器を付けて探すといった方法もあるがどうか。

事務局：GPS機能などのセンサーを持たせて、現在地を把握するという方法かと思う。IoTが進む中では、そういった可能性も考えられるが、高齢者の方にセンサーを付けるという点で、どうかという課題もある。

### 9 閉会